

協働パイロット事業 (H25) 企画提案書

団体名：特定非営利活動法人ふじのくにハーモニー

1. 事業の名称

～心と心のつながりを～

- うたおうよ、子守唄！！ たのしもうよ、ふれあい歌遊び！！

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

- 広く社会との関わりの中で、人間関係を培う精神的基盤の喪失が感じられる昨今、今こそ、母と子の絆づくりをベースに温もりのある人間性を育てていく大切さを伝えていく。
- 子守唄を色々な角度から普及していくことで、子守唄が各家庭で歌われたり、相手を思いやるやさしい心、豊かな感性を培った人が育っていくことを目標にプログラム作成と実践に取り組む。又、参加者と共に考え、気づきを共有していく。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

提案団体が果たす役割

- 各地(静岡県)に残されている子守唄・わらべうたの掘り起こしとその背景などを知ることにより、日本人が培ってきた子どもに対する思いや文化の普及、温もりのある人づくりの手助けをしたい。

市行政に望むこと

- 実施に当たり、活動費の支援
- 活動場所(子育て支援センター・ママサークル・イクメンパパのつどいなど)の紹介
- 広報

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

- 子守唄指導員養成講座や、子育て支援センターへの出前講座を実施し、参加してもらうことで子守唄等に関心をもつ人が増えている。
- 母親・父親・祖父・祖母が、子守唄等を通じてスキンシップが増え、参加者の親子のふれあいの大切さへの理解が深まり、子守唄等が家庭で唄われるようになっている。
- 子守唄等を伝える人が育っている。
- 子どもが子守唄等を歌ってもらう事を好み、安心した人間関係を持つことができる。
- 子守唄等を通してネットワーク作りができる。

5. 事業計画

平成25年度 事業計画

・第5回 子守唄指導員養成講座

日時：平成25年5月26日(日) 9:10~12:10 13:30~15:30

会場：あざれあ4F 第2会議室

対象者：保育士・幼稚園教諭・介護士・学生・関心のある一般の方

・第6回 子守唄指導員養成講座

日時：平成25年8月31日(日) 9:10~12:10 13:30~15:30

会場：静岡英和学院大学

対象者：保育士・幼稚園教諭・介護士・学生・関心のある一般の方

・イベント 講義とワークショップ 『響かせよう子守唄を！ 子育てに子守唄を！』

日時：平成25年9月21日(土) 13:00~16:30

会場：静岡英和学院大学 本講堂

※ 英和学院大学教授の方々と協賛。

「思春期の問題行動からみた幼児期の大切さ」

講義と具体的なスキンシップの方法や参加者で子守唄を歌う。

対象者：保育士・幼稚園教諭・介護士・学生・関心のある一般の方

・(その他予定)

6月中旬 子守唄 CD 作成

7月中旬 静岡市内子育て支援センター出前講座

10月中旬 子守唄指導員養成講座フォローアップ講座

10月中旬 島田市子育て支援センター職員研修出前講座

平成26年2月22日(土) 第7回 子守唄指導員養成講座

6. スケジュール

毎月第2土曜日定例会・理事会

4月13日(土)~5月25日(土) 指導員養成講座テキストの見直し・作成

5月11日 ふじのくにハーモニー会報誌第三号作成 理事に配布

5月11日 静岡県協働パイロット事業提案書作成

4月~5月 関係者、知人を通して、案内プリント配布

5月26日(日) 第5回 子守唄指導員養成講座実施

6月中 ふじのくにハーモニー子守唄 CD 作成

7月~8月 出前講座の指導案検討・作成

9月21日(土) イベント実施

10月12日(土) フォローアップ講座の内容検討

10月26日(土) フォローアップ講座

島田市内子育て支援センター・静岡市内子育て支援センター 出前講座 計画実施

事業実施後は、必ず振り返りを行い次回につなげていく。

団体名：特定非営利活動法人ふじのくにハーモニー

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

顧問	西館 好子	NPO 法人日本子守唄協会 理事長
アドバイザー	木苗 直秀	静岡県立大学 学長
アドバイザー	木宮 岳志	学校法人常葉学園 本部事務局長
アドバイザー	中村 徹	静岡福祉医療専門学校 校長
相談役	奥野 節子	元静岡県立総合病院 副看護部長
理事長	深田 竜生	セリオコーポレーション(有) 代表取締役
副理事長	星 猛	医学博士/東京大学・東北大学・静岡県立大学 名誉教授/元静岡県立大学学長
副理事長	高木 桂蔵	静岡県立大学・台湾東方工科大学 名誉教授/静岡福祉医療専門学校 非常勤講師
副理事長	稲葉 昌代	常葉学園常葉大学短期大学部附属とこは幼稚園園長/常葉大学短期大学部 特任教授
理事	佐藤 仁之	静岡英和学院大学人間社会学部コミュニティ福祉学科 教授
理事	堀畑 章子	東海福祉専門学校元非常勤講師/元保育園園長/母子保健家族計画事業功労者厚生労働大臣表彰
理事	西村 やえ	子育て支援センター元保育士/元保育園園長
理事	畑 寛和	環境省エコアクション 21 審査員/国際審査員機構 (IRCA) 委員/コンサルタント内部監査員
理事	川島 正史	静岡県ふじのくに防災士/特定社会保険労務士
理事	近藤 裕美	音楽指導員/認知症のひと家族の会 ほっと会 世話人/キャラバンメイト
理事	落合 克能	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 介護福祉学科 助教
理事(兼事務局長)	深田 美紀	セリオコーポレーション(有) 取締役
監査	杉本 茂	公認会計士/元静岡県 県警財務調査官

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

子守唄は唄い継がれていくものなので、唄われなければ消えてしまいます。まず、子守唄を知ってもらい唄い広めてもらうために、子守唄指導員養成講座としました。4回の実績があります。

受講者からは、「今荒れている子が多いので、子供たちにはもちろん保護者にも機会を作って伝えていきたいと思いました。（保育士）」「講師の先生方のうたう唄を聞いただけでなぜか涙が出てきてしまいました。先生方がうたいながら涙が出てしまいますとおっしゃいましたが、みんなそうなのだと知り、不思議に思いました。子守唄のすばらしい力なのだと感じました。心がいやされました。ありがとうございました」「地域の唄をうたいついでいきたいと思いました」「色々な子守唄、わらべ唄を紹介して頂き、大変勉強になったので。スキンシップとなる子守唄を大切にし、心を育てていきたいと思いました」「最近子守りを頼まれるので、孫の名前を歌詞に入れて唄っています（一般男性）」などの感想等を頂きました。

独自性としては、子守唄指導員養成講座はNPOとして専門学校・短期大学・私立大学・公立大学等教育機関と協働しながら実施している前例はないと思います。

子守唄指導員養成講座について

現在我が国における生活環境は、近年の目覚ましい高度成長が人々の暮らしを豊かにし、あらゆる点において便利になり、いつの間にか先進国として世界をリードするようになってきました。しかしながら、昨今における幼児虐待、孤独死、少年等の凶悪な犯罪を見ますと、豊かさを求めすぎたがゆえに、自分さえよければ他人はどうなっても良いという間違った個人主義が氾濫し、人間として最も大切な何かが失われてしまったのではないかと考えざるを得ません。

それは、日本人としての親子、兄弟、友人や、広く社会との関わりの中で、人間関係を培う精神的基盤の喪失が大きな原因なのではないかと考えます。言い換えれば、日本人としての生きるための心の有り様、心の美意識がなくなってしまったのではないかとさえ懸念されるのです。

そしてまた平成23年には東日本大震災というかつてない大災害に見舞われ、“絆”という言葉が改めて見直された年でもありました。

そこで、かつては知らず知らずのうちに身につけてきた温もりある人間性を、今こそ取り戻すことが必要なのではないかと、NPOふじのくにハーモニーは、情操・環境の充実支援に取り組もうと考えています。その活動の一環として、まずは子守唄を広く多くの人に唄っていただき、心の潤いを思い起こさせていただけたいと願い、子守唄指導員養成講座を実施することになりました。

人間関係の出発は、まず親子。無償の愛によって育まれる子育て。その最初の関わりは、なんといっても子守唄ではないでしょうか。時も場所も選ばず、何の手立てがなくてもだれでも唄える子守唄について学び、唄うことによって、相手を思いやるやさしい心、豊かな感性を培っていきたいと願っています。なお、子守唄指導員養成講座の全過程を修了した方には、NPOふじのくにハーモニーから『子守唄指導員証明証』が発行されます。

協働パイロット事業 (H25) 見積書

団体名：特定非営利活動法人ふじのくにハーモニー

企画のタイトル：～ 心と心のつながりを ～

うたおうよ、子守唄を！！ 楽しもうよ、ふれあい歌あそび！！

項目	金額	説明
講師謝礼	¥200,000	子守唄養成講座 @¥20,000×3人×2回 イベント @¥20,000×4人
会場費(視聴覚機器含む)	¥20,000	子守唄養成講座 @¥10,000×2回 (イベントは大学の講堂を借用)
スタッフ経費	¥75,000	@¥5,000×5人×3回
通信費	¥14,400	子守唄養成講座 @¥80×40人×2回 イベント @¥80×100人
事務用品費(資料作成)	¥17,000	子守唄養成講座@¥5×30ページ×40人×2回、 イベント@¥5×10ページ×100人
講座諸雑費	¥30,000	会場設営、講師湯茶等 @¥10,000×3回
ビデオ編集費(講座記録用)	¥90,000	@¥30,000×3回(前年度実績)
CD作成費(講座時提供用)	¥25,000	貸スタジオ、音響機器レンタル@¥5,000×3時間、 メディア@¥50×200枚
小計 A	¥471,400	
消費税 B=A×0.05	¥23,570	
合計 A+B	¥494,970	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
資料代	¥180,000	子守唄養成講座 @¥1000×40人×2回 イベント @¥1,000×100人
自己負担	¥64,970	差額

企画提案の概要書

提案団体名	特定非営利活動法人ふじのくにハーモニー
企画案のタイトル	～ 心と心のつながりを ～ うたおうよ、子守唄を！！ 楽しもうよ、ふれあい歌あそび！！
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>昨今における幼児虐待、孤独死、少年等の凶悪な犯罪を見ますと、広く社会との関わりの中で、人間関係を培う精神的基盤の喪失が大きな原因なのではないかと考えます。</p> <p>人間関係の出発は、まず親子。無償の愛によって育まれる子育て。その最初の関わりは、何といたっても子守唄ではないでしょうか？時も場所も選ばず、何の手だてがなくても誰でも唄える子守唄について学び、唄うことによって、相手を思いやる優しい心、豊かな感性を培っていきたくと願っています。</p> <p>そこで、子守唄指導員養成講座、子育て支援センターへの出前講座を実施し、子守唄に関心をもつ人を増やし、母親・父親・祖父・祖母が子守唄を通じてスキンシップが増えることで、親子のふれあいの大切さへの理解が深まり、子守唄等が家庭で唄われるようになっている。</p>
金額	250,000 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。